

# 【 6 年】 算数科「単元まるごと活用」授業記録

単 元 名	速さ
つけたい力	資料の情報を使って、複合的に考える力
(学ばせたいこと) キーワード	縮尺、単位の変換、速さの公式、グラフの読み取り、時差、時刻と時間
学 習 材	自作
本時のねらい	資料の情報を使って、サンクトペテルブルクの到着日時を求める方法を考える
本時の課題	サンクトペテルブルクに到着する日時の求め方を考えよう
授 業 展 開	「情報の取り出し・理解」の活動場面 … 「既習の学び」を意図的に活用
	つかむ 1 課題をつかむ 2 資料を提示する
	考える 学び合う 「思考、判断、表現・記述する」の活動場面 3 考えを持つ 4 学び合う ・長さと縮尺から実際の距離を求める→グラフの時間と距離から飛行機の速さを求める→実際の距離と飛行機の速さから飛行時間を求める→出発時間と気候時間、時差から到着日時を求める。
	「交流・確かめ」の活動場面
	5 学習をまとめる <div>             ①地図上の長さから実際の距離が分かる。              ②実際の距離と速度から飛行時間が分かる。              ③飛行時間と出発時間と時差を考えれば、到着日時が分かる。           </div>
板 書	
振 り 返 り	8人中1人が正確に答えを出すことができた。残りの7人も時差、時刻と時間以外は答えを出すことができた。答えを出すまでに、たくさんの既習を使うことになるが、一つ一つを正確に出すことができていた。ただ、かける数とかけられる数が逆になってしまう児童もいたので、もう一度確認をしていきたい。

